

望

山中つばめ
梅若紀彰
山中近晶

遊柳
遊柳クセ

梅若長左衛門
梅若玄祥
地謡
土田英貴
山本博通
角当行雄
小田切康陽

《休憩十分予定》

後見 赤瀬 雅則
梅若長左衛門
地謡 鷹尾 梅崎 井上
雄一 友正 療治
章弘 郎

羽衣

会田昇
彩色

高井松男
大日方寛
御厨誠吾
亀井 広忠
大倉源次郎
中谷 明

《休憩二十分予定》

狂言 呂蓮

野村 萬斎
石田 幸雄
飯田 豪

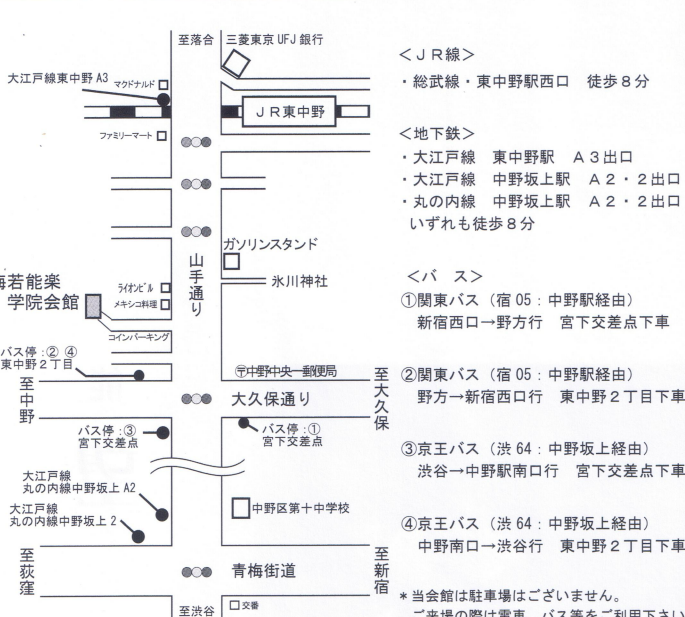
後見 山中 近晶
角当 行雄
地謡 梅津千代司
河本望
土田英貴
川口晃平
山本 隆雄
内藤 幸雄

俊寛

小田切亮磨
角当直隆
松山隆之

宝生 欣哉
佃 良勝
亀井 俊一
藤田朝太郎

後見 梅若 隆之
赤瀬 玄祥
雅則
地謡
井上 川口 小田切
和直 晃平 亮磨
幸 隆 磨
鷹尾 山崎 小田切
章 正 維 康
弘 道 教 陽



〒164-0003 東京都中野区東中野 2-6-14
公益財団法人 梅若会 (梅若能楽学院会館)
TEL: 03-3363-7748 FAX: 03-3363-7749

『俊寛』平家討伐の陰謀が暴かれこの陰謀に加担した俊寛僧都・平半官康頼・丹波少将成経は絶海の孤島鬼界が島に流刑される。平清盛は娘の建礼門院が天皇の子を宿すと、皇太子誕生を願う大赦令を出す。鬼界が島の三人が水を酒に見立て飲み交わし菊の節句の宴を開いていると三人のもとへ赦免使が訪れ赦免状を渡す。喜ぶ三人のうち康頼が状を読み上げると俊寛は自分の名前が無いことに気づき、自分一人許されぬことを嘆く。使者が康頼・成経を船に乗せると俊寛は續にしがみついたが、使者は櫓を振り上げ俊寛を押し切って船を出す。船を見送り号泣する俊寛はただ一人渚に残される。

『羽衣』駿河に住む漁師白龍が漁の帰り三保の浦で松の枝に掛る一枚の美しい衣を見つけて持ち帰ろうとする。そこに一人の若い天女が現れ、その衣は天人の羽衣なのでその羽衣が無ければ天に帰ることができないと悲しむ。白龍は嘆く天女を哀れみ、天上の舞楽を見せてくれれば羽衣を返そうと話しつつ羽衣を渡したら飛び去るのではないかと疑う。天女は疑いは人間にあって天に偽りは無いと答え、羽衣を身にまとうと世にも美しい舞を舞う。天女はなおも花の降り下つる中で東遊の舞楽を舞続け、やがてその姿は富士の高嶺をもこえ高く大空へ舞い上がり消えていく。

『望月』小沢刑部友房は主君である安田友治を望月秋長に討たれ、今では近江国守山で宿屋を営んでいる。ある日敵の追手を逃れた友治の妻は一子の花若と流浪の末にこの友房の宿に泊まる。友房が旧主友治の妻子との再会を喜んでいると、折しも宿敵望月もこの宿に泊まっている事を知る。今が敵討ちの時と友房は計略をめぐらせ友治の妻を宿場芸人の盲女に仕立て花若にその手を引かせて望月の座敷へ入り込む。花若が八撥と打ち、友房が獅子舞を舞って隙を窺いついに望月を討つことができ三人は本望の仇討ちを果たす。

【観能チケットお申し込み他について】

1. 正面指定席 10,000円・正面横指定席 9,000円・中、脇正面自由席 8,000円・中、脇正面学生席 4,000円
 2. チケットはお電話、またはファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(TEL 03-3363-7748 FAX 03-3363-7749) なお梅若会ブログにても受け付けております。(パソコン: <http://umewakanoh.exblog.jp/> 携帯: <http://mblog.excite.co.jp/user/umewakanoh/>)
詳しくはお電話にてお問い合わせ頂くか梅若会ブログをご覧ください。
 3. 梅若会賛助券および準賛助券はご利用できません。別途チケットをお求め下さい。
 5. 都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
- *ロビーにて軽食、コーヒー、ケーキ等の販売がございます。皆様ご利用下さい。

